

東京都看護師認知症対応力向上研修 I 標準カリキュラム

研修のねらい		
1 認知症の人の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴等の基本知識を習得する。 2 認知症の人を理解し、適切な対応方法（アセスメント、看護技術、院内外の連携等）を習得する。		
到達目標		
1 病院における認知症の人の現状や課題を理解し、修了後の役割を理解する。 2 実践対応力の前提となる認知症の原因疾患の主な症状や特徴を理解する。 3 認知症の人を支える施策・制度及び社会資源等を理解する。 4 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する。 5 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応（アセスメント、看護技術、環境調整等）を理解する。 6 病棟等における実践的な対応力（チーム対応、院内外の連携、介護者支援）を理解する。		
区分	実施内容	形態・時間数
1 意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と意義 ・一般病院等での認知症の現状と課題 ・病院及び看護師の役割 	講義 5分
2 認知症に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の主な原因疾患、症状と経過 ・鑑別すべき疾患と薬物の基礎知識 ・身体面の特徴 	講義 30分
3 認知症ケアに関する知識	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの基本的な考え方 ・心理面からの特徴とケアの基本 ・認知症の人の心身、生活に対する環境の影響 ・認知症の人のコミュニケーションの特徴と対応方法 ・認知症の人の基本的なアセスメント方法 ・環境調整の実施 ・せん妄の基本的な知識とアセスメント ・せん妄の予防、発見及び対応 ・入院治療に伴うリスクと身体拘束 ・意思決定支援 	講義 120分
4 認知症の人を支える連携等について	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の認知症施策について ・認知症の人の在宅生活を支える諸制度 ・退院支援に係る他職種・他施設との連携 	講義 30分
演習の目標		
認知症とそのケアに関する正しい知識に基づいたコミュニケーション及びケア等を実践することができる。		
演習	事例検討や自部署における課題の抽出等をテーマとしてグループワークを実施	演習 90分

上記が標準カリキュラムとなります。

実際のプログラムとは一部講義時間の変更がありますが、東京都の規定の範囲内であるため研修修了条件に問題はございません。